

鉄軌道駅の段差への対応状況

平成16年3月31日現在

事業者名	総駅数	1日あたりの平均利用者数が5千人以上の駅数	段差を解消している (移動円滑化基準第4条に適合している)駅数		
			うち5千人以上の駅数	5千人以上の駅に対する割合(%)	
JR北海道	472	29	25	14	48%
JR東日本	1,685	469	220	188	40%
JR東海	398	83	59	32	39%
JR西日本	1,214	281	246	111	40%
JR四国	258	7	24	3	43%
JR九州	552	62	51	27	44%
JR旅客会社6社 小計	4,579	931	625	375	40%
東武鉄道	197	111	28	23	21%
西武鉄道	89	74	30	28	38%
京成電鉄	64	47	21	20	43%
京王電鉄	68	64	26	25	39%
小田急電鉄	69	67	59	59	88%
東京急行電鉄	86	86	72	72	84%
京浜急行電鉄	71	70	22	22	31%
相模鉄道	24	23	13	12	52%
名古屋鉄道	305	72	40	18	25%
近畿日本鉄道	325	123	85	49	40%
南海電鉄	116	52	23	19	37%
京阪電鉄	84	57	33	26	46%
阪急電鉄	84	81	46	46	57%
阪神電鉄	41	34	25	21	62%
西日本鉄道	80	23	13	11	48%
大手民鉄15社 小計	1,703	984	536	451	46%
東京地下鉄	139	139	12	12	9%
札幌市	46	46	9	9	20%
仙台市	17	16	17	16	100%
東京都	97	95	11	11	12%
横浜市	32	30	22	20	67%
名古屋市	78	72	38	34	47%
京都市	27	25	27	25	100%
大阪市	99	95	79	75	79%
神戸市	26	21	23	18	86%
福岡市	19	18	19	18	100%
地下鉄10社局 小計	580	557	257	238	43%
JR、大手民鉄、地下鉄 小計	6,862	2,472	1,418	1,064	43%
中小民鉄、路面電車 小計	2,682	263	582	136	52%
鉄軌道全体 合計	9,544	2,735	2,000	1,200	(39%) 44%

注) 1. 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。

2. 2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。

3. ()内は平成14年度末の数値。

鉄軌道駅のエレベーター・エスカレーター整備状況

平成16年3月31日現在

事業者名	総駅数	1日あたりの平均利用者が5千人以上かつ高低差5m以上の駅数	エレベーター(Ev)を設置している駅数			エスカレーター(Es)を設置している駅数		
			うち5千人以上かつ5m以上の駅数	5千人以上かつ5m以上の駅に対する割合(%)		うち5千人以上かつ5m以上の駅数	5千人以上かつ5m以上の駅に対する割合(%)	
JR北海道	472	24	22	14	58%	18	12	50%
JR東日本	1,685	343	202	146	43%	297	256	75%
JR東海	398	80	46	39	49%	39	36	45%
JR西日本	1,214	204	141	115	56%	88	78	38%
JR四国	258	5	7	1	20%	5	3	60%
JR九州	552	42	38	19	45%	25	17	40%
JR旅客会社6社 小計	4,579	698	456	334	48%	472	402	58%
東武鉄道	197	90	30	26	29%	64	61	68%
西武鉄道	89	50	37	34	68%	39	33	66%
京成電鉄	64	37	14	13	35%	26	23	62%
京王電鉄	68	41	28	26	63%	28	27	66%
小田急電鉄	69	64	44	44	69%	30	30	47%
東京急行電鉄	86	64	54	51	80%	30	30	47%
京浜急行電鉄	71	55	16	16	29%	28	27	49%
相模鉄道	24	22	11	10	45%	17	16	73%
名古屋鉄道	305	57	29	17	30%	25	22	39%
近畿日本鉄道	325	86	61	45	52%	77	62	72%
南海電鉄	116	41	18	16	39%	26	25	61%
京阪電鉄	84	35	24	22	63%	28	27	77%
阪急電鉄	84	58	41	40	69%	36	36	62%
阪神電鉄	41	28	20	17	61%	23	20	71%
西日本鉄道	80	15	9	9	60%	11	10	67%
大手民鉄15社 小計	1,703	743	436	386	52%	488	449	60%
東京地下鉄	139	139	94	94	68%	112	112	81%
札幌市	46	46	37	37	80%	36	36	78%
仙台市	17	16	17	16	100%	17	16	100%
東京都	97	95	57	57	60%	91	91	96%
横浜市	32	30	28	26	87%	26	25	83%
名古屋市	78	72	49	45	63%	75	69	96%
京都市	27	25	27	25	100%	27	25	100%
大阪市	99	95	94	90	95%	98	94	99%
神戸市	26	21	26	21	100%	25	20	95%
福岡市	19	18	19	18	100%	19	18	100%
地下鉄10社局 小計	580	557	448	429	77%	526	506	91%
JR、大手民鉄、地下鉄 小計	6,862	1,998	1,340	1,149	58%	1,486	1,357	68%
中小民鉄、路面電車 小計	2,682	171	223	111	65%	243	132	77%
鉄軌道全体 合計	9,544	2,169	1,563	1,260	(52%) 58%	1,729	1,489	(67%) 69%

注) 1. 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。

2. 2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。

3. ()内は平成14年度末の数値。

参 考 資 料

平成15年度 鉄軌道駅におけるエレベーター・エスカレーターの設置実績

平成16年3月31日現在

	エレベーター		エスカレーター	
	H15年度Evを 新設した駅数(実績)		H15年度Esを 新設した駅数(実績)	
JR 小計	75		32	
大手民鉄 小計	41		5	
地下鉄 小計	24		3	
中小民鉄、路面電車 小計	29		20	
鉄軌道全体 合計	169		60	

・実績には、平成15年度中に供用を開始した駅を計上している。

平成16年度 鉄軌道駅におけるエレベーター・エスカレーターの設置計画

平成16年3月31日現在

	エレベーター		エスカレーター	
	新設	増設・改良	新設	増設・改良
JR 小計	60	20	14	15
大手民鉄 小計	44	24	7	6
地下鉄 小計	25	22	6	9
中小民鉄、路面電車 小計	13	2	2	0
鉄軌道駅全体 合計	142	68	29	30

・平成16年4月1日から平成17年3月31日までに供用開始予定の駅を計上している。
 ・今後の調整、工事の進捗状況等により多少の変更があり得る。

平成15年度中に設置した鉄軌道駅におけるエレベーター・エスカレーターの基数
平成16年3月31日現在

	エレベーター	エスカレーター
	H15年度中に設置したEV基数	H15年度中に設置したES基数
JR 小計	222	228
大手民鉄 小計	104	36
地下鉄 小計	76	18
中小民鉄、路面電車 小計	54	84
鉄軌道駅全体 合計	456	366

参 考 資 料

エレベーター・エスカレーターの少なくとも一方を設置している駅数

平成16年3月31日現在

	エレベーター・エスカレーターの 少なくとも一方を設置している駅数		H15年度中に 増加した駅数 (-)
	H14年度末	H15年度末	
JR 小計	570	624	54
大手民鉄 小計	610	632	22
地下鉄 小計	538	544	6
中小民鉄、路面電車 小計	270	292	22
鉄軌道駅全体 合計	1,988	2,092	104

・各年度とも、稼働中のエレベーター・エスカレーターのうち少なくとも一方を設置している駅数を計上している。